

敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI) 質問回答（回答意向表明後配布資料に関するものは除く）

項番	資料名	ページ・項番等	質問内容	回答
1	敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI)実施要領	1 背景と目的	本システムで取り扱う「敬老乗車証」の範囲は以下と理解しております。相違ないでしょうか？ ①フリーパス証(市バス・市営地下鉄・京都バス・京阪バス・京北ふるさとバス・醍醐コミュニティバスならびに民営バス敬老乗車証) ②敬老バス回数券(9社共通券および近鉄バス・醍醐コミュニティバスの単独券) ※参照： <a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000232683.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000232683.html</a>	ご認識の通りです。 ただし、制度改正によって変更となる可能性があります。
2	敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI)実施要領	1 背景と目的	大型汎用コンピュータの廃止と併せて高速プリンタも廃止されることですが、代替となる印刷手段の提供は必須ではないと理解してよいでしょうか？	ご認識の通りです。 大量印刷については、事業者への委託を検討しております。
3	敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI)実施要領	1 背景と目的	本件の稼働時期の目安についてご教示ください。	現時点では未定ですが、早くとも、令和9年度以降の調達・稼働を見込んでいます。 なお、工期については、1年程度を想定しています。
4	敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI)実施要領	2 情報提供依頼内容 (1) システム方針 (3) 対象システムの導入・運用に係る概算費用等	クラウドサービスの利用を前提とされているとお見受けしますが、ご提供手段はガバメントクラウドならびに標準準拠パッケージに限定されるでしょうか？	・構築方法については、オンプレミス、ガバメントクラウド、プライベートクラウド(本市データセンターまたは事業者による提供)、いずれも検討の対象となるため、可能であれば、複数のパターンのご提案をいただけると幸いです。  ・敬老乗車証交付管理システムに類する標準準拠システムは存在しないと考えられます。しかしながら、住民基本台帳、個人市民税、介護保険、生活保護の標準準拠システムとのデータ連携が必要となります。
12	その他	-	職員研修実施時の最大人数をご教示願います。また、対面研修の場合、貴庁内の会議室等開催の想定でよろしいでしょうか。	研修対象の最大人数は、職員及び敬老乗車証交付事務センター(コアメンバ)の、計20名程度を想定しています。  システム操作を伴う研修(ハンズオン)は、対面研修で実施、それ以外の研修は対面、オンラインのいずれかで実施、と想定しています。対面研修の場所は本市庁内の会議室等を使用します。

※ 本市ホームページ「敬老乗車証交付管理システムに係る情報提供依頼(RFI)」にて公開している情報及び資料に関連するご質問及び回答のみ掲示します。  
ホームページに公開していない配布資料に関するご質問については、情報提供回答意向書兼誓約書の提出があった事業者に対してのみ回答を提供します。